

2 0 2 4 年 度 事 業 報 告

社会福祉法人 青 梅 福 祉 会

第1 事業結果の概要と運営方針

1	保育理念	1
2	保育の方針	1
3	財政の健全化	1
4	職員資質の向上	1
5	地域社会との交流	1
6	安全対策	2
7	苦情処理	2
8	第三者評価	2
9	IT 活用	2

第2 法人関係

1	法人役員の定数とその構成	2
2	法人（理事長・理事・監事）役員の任期	2
3	役員会会議実績	2
4	役員研修実績	4
5	定款・規則等の制定・改廃	4
6	許認可申請および内容変更申請等	4
7	施設整備計画	4
8	その他の事項	4

第3 施設関係

1	職員配置	4
2	職員会議実績	6
3	職員の健康管理	8
4	研修実績	8
5	園児処遇関係	10
6	施設整備状況	13
7	災害対策	13
8	保護者との関係	14
9	地域社会との関係	14
10	苦情処理	14

第4 添付書類

法人役員名簿	15
保育の年間指導計画書振り返り	16

* 個人情報使用については、利用目的以外には使用いたしません

事業報告書

第1 事業結果の概要と運営方針

1 保育理念

地域に支えられながら子ども一人一人の人格を尊重し、心身の成長を促し大切に保育する。

2 保育の方針

園児たちは、本園を取り巻く四季折々の自然に触れ感動する体験を通しながら、好奇心や探求心をもって遊び、豊かな言葉が芽生え友だちとの関わりを深めていた。また、身近な植物に感動し、生命の不思議さや尊さに気づき、いたわり、大切にする気持ちを持つことも出来た。園庭では園児は全身を使って活発に過ごし運動能力の向上を実感した。子どもの健康や発育に不安を抱える保護者様に対して看護師が適切な相談相手となり不安を取り除くことが出来た。補助的保育士を配置し重度の障がい児長時間保育を実現した。本児も異年齢児との関わりを通し自信と積極性を育んでいた。認定子ども園など近隣の施設が乳児保育を実施している影響を受け0歳児は2名からのスタートだったが、年度末は令和6年度入園予定児を受け入れる弾力運営が叶い8名まで増員出来た。しかし、1歳児の増員はなく今後入所の傾向を見据え0歳児の認可人数増員などの調整が課題である。幼保一元化に伴い「小学校との連続性を意識した保育と何か」を職員と研鑽した結果、基本的生活習慣を身に付ける、体力の向上、協調性を養うなどが挙げられ、それらをカリキュラムに取り入れた結果、園児たちは目には見えない能力である非認知能力が育った。一方、0歳児から5歳児までの連続性のある保育を向上させることは永遠の課題と言える。

3 財政の健全化

公定価格改正により、青梅市保育園連合会モデル給与表格付け基準が改定された。今回の給与改定は職員のモチベーションアップに繋がったが、保育園に求められるニーズも多様になり保育士の過重労働が課題となっていることに変わりはなく、職員一人一人に対する労いは大切なことである。同時に、保育室面積基準の関係上、利用定員を90名にしたことで園児1人当たりの運営費が引き上げられ円滑な運営を維持出来た。

4 職員資質の向上

本園は離職率が低くキャリアが豊富な職員が多数在職しており、このことが保護者様の信頼感に繋がっている。そのため各職員は、キャリアアップシートや自己目標シート活用により目標を明確化し、研修会に積極的に受講するなど自己向上に努める姿勢が見られた。

5 地域社会との交流

職員が立ち上げた地域交流委員会が提案した「保育園体験」「園庭開放」「Instagram開設」は地域と保育園、ご家庭との繋がりを深めたが、Instagramとホームページを連動させたことは保育園の情報提供の拡大となった。また、地域の方のご厚意により園児は農育活動を活発化し、さらに、その野菜で調理保育を行い、地域の方を招待するなど地域交流を一層深めることが出来た。

6 安全対策

園児の安全を第一に、園舎内や園庭に至るまで日常的に安全点検を行った。園児のトラブルや怪我の発生時は職員で防犯カメラの映像を検証し、保護者様の立ち合いの下、防犯カメラの画面起こしを行い情報提供した。ヒヤリハット報告書の記入、安全委員会も引き続き開催、置き去り防止のための人数点呼をダブルチェックした結果、無事故で保育を実践出来た。

7 苦情処理

第三者評価で保護者様からいただいた「見直して欲しいご意見、ご要望」は職員で情報共有し、可能な限りそれらを参考に保育サービスの向上に努めた。また、保育・運営に関するルールの変更は、職員がその意図を保護者様に正確に説明出来るように意識の統一に努めた。

8 第三者評価

2025 年度実施予定。

9 I T活用

I C T化により園児の登降園状況、保育計画、ヒヤリハットなどが一目で情報共有出来た。

第2 法人関係

1 法人役員の定数とその構成

(添付書類参照)

2 法人（理事長・理事・監事）役員の任期

2025 年 6 月定時評議員会から 2027 年 6 月定時評議員会まで

3 役員会会議実績

月	会 議 内 容	支 出 額
5	決 算 監 査	21,000円
6	理 事 会 ●議 案 2023 年度事業報告の認定について 定時評議員会開催日程について 社会福祉法人青梅福祉会評議員の改選について 社会福祉法人青梅福祉会給与規程第 4 章第 17 条「住居手当」の改正について 社会福祉法人青梅福祉会評議員・役員の報酬等に関する規程第 4 章第 3 条「報酬の額」改定について ※報告事項 職員の勤勉・期末手当の支給について	49,000円

月	会 議 内 容	支 出 額
6	定 時 評 議 員 会 ●議 案 2023 年度事業報告の認定について 社会福祉法人青梅福祉会評議員の承認について ※報告事項 職員の勤勉・期末手当の支給について 利用定員変更について	63,000円
12	理 事 会 ●議 案 2024 年度第 1 次補正予算（本部拠点について） 2024 年度第 1 次補正収支予算（施設拠点区分について） 社会福祉法人青梅福祉会役員改選について ※報告事項 職員の勤勉・期末手当の支給について 入所状況と定員について 他	49,000円
3	理 事 会 ●議 案 2024 年度第 2 次補正収支予算（本部拠点区分）について 2024 年度第 2 次補正収支予算（本部拠点区分）について 2025 年度事業計画の認定について 2025 年度収支予算（本部拠点区分）について 2025 年度収支予算（施設拠点区分）について 社会福祉法人青梅福祉会給与改正について 社会福祉法人青梅福祉会育児介護等の改正について ※報告事項 園児数について 評議員改選期統一に向けての意志表示について 次年度入所状況について 幼児組副食費無償化について 処遇改善支給について	49,000円

4 役員研修実績

月	研 修 内 容	派 遣 者	支 出 額	
			会 費	旅 費
10	理事長会管外視察研修	理 事 長	15,000 円	3,000 円
12	保育園連合会法人役員研修	理事・監事	なし	なし

5 定款・規則等の制定・改廃

- 6 月 社会福祉法人青梅福祉会給与規程第 4 章第 17 条「住居手当」の改正
 社会福祉法人青梅福祉会評議員・役員の報酬等に関する規程第 4 章第 3 条「報酬の額」改正
- 3 月 社会福祉法人青梅福祉会給与改正
 社会福祉法人青梅福祉会育児介護等の改正

6 許認可申請および内容変更申請等

- 10 月 利用人数変更届申請

7 施設整備計画

- (1) 園舎の増改築・補修工事の状況
 なし
- (2) 固定資産物品・備品の購入状況
 なし

8 その他の事項

特になし。

第3 施設関係

1 職員配置

(1) 職員構成と職務分担（園児のクラス編成）（3月末）

職 名	氏 名	在職 年数	職 務				備 考
			クラス名	年齢区分	定 員	入所人員	
園 長	板橋 仁美	31.6					
主任保士	杉山あずさ	29.6	保育全般				
保育士	吉澤 智子	17	ひよこ	0 歳	6		
保育士	遠山紗菜恵	8.8					
保育士	井上 展子	32	りす	1 歳	1 0		
保育士	堀 ルミ	4					

職 名	氏 名	在職 年数	職 務				備 考
			クラス名	年齢区分	定 員	入所人員	
保育士	土田 悠加	18	こあら	2 歳	1 8		
保育士	小笹 理絵	6.7					
保育士	佐藤 実久	6					
保育士	小山 莉穂	8	うさぎ	3 歳～5 歳	3 歳 20		3 歳担当
保育士	村木 元夢	3					4 歳担当
保育士	佐藤小百合	14	くま	3 歳～5 歳	4 歳～5 歳 46		3 歳担当
保育士	遠藤ちひろ	4					5 歳担当
保育士	渡邊 純子	32	幼児リーダー				
保育士	鬼頭 菜月	5.6	フリー				6 月より産休
庶 務	山田 尚子	29.1	経理事務・用務				
パート看護師	久保 康子	24	保健管理				
パート保育士	佐藤 里美	8.4	保育補助				
パート保育士	田中 なをみ	7.5					
パート保育士	山田 みゆき	5.4					
パート保育士	斎藤 杏奈	5					
パート保育士	佐藤 由佳	3.9					
パート保育士	田中喜美子	3.8					
パート保育士	吉原 規栄	3.4					
パート保育士	佐藤 愛	2					
パート保育士	中瀬 麻美	2					
用務補助員	須崎 洋子	8,4	保育室等業務補助				
栄養士	業務委託	—	献立・調理担当 3 名				
調理員	業務委託	—	調理担当 2 名				

(2) 採 用 者

正規職員 採用なし

臨時職員 民谷 まゆみ (1 月 1 日)

(3) 退 職 者

正規職員 退職なし

臨時職員 清水 陽香 (6 月 2 5 日)

須崎 洋子・民谷 まゆみ (3 月 3 1 日)

2 職員会議実績

月	会 議 内 容	人 員	支 出 額
4 月	5 月の保育について（行事、クラス便り） 乳幼児健康診断 入園・進級式の反省 保育事務（カリキュラム、その他の保育事務）に関する書類の提出と記録の仕方の確認、事務連絡 クラス報告(毎月) 看護師による応急処置の確認	15 人	
5 月	6 月の保育について 巡回指導について 虫歯予防指導について 移動動物園実施と反省 クラス懇談会について 災害時の緊急引渡し訓練と反省 園内研修について 夏まつりについて	15 人	
6 月	7 月の保育について 七夕飾り クラス懇談会の反省 プール開きの活動における衛生と救急対応について 夏まつりの確認 ★ 園内研修（わかくさ保育園視察）	12 人 13 人	
7 月	8 月の保育について 敬老会・運動会について 夏まつりの反省	13 人	
8 月	9 月の保育について（敬老会、運動会） プール活動・納めと反省、各分野担当中間報告	14 人	
9 月	運動会の細部打合せ（係、種目、他） 10 月の保育について（運動会、遠足、健康診断） 敬老会の反省 保育参加について	16 人	
10 月	★ 園内研修 運動会の打合せと反省 11 月の保育について 保育参加について 発表会・クリスマス会について お弁当遠足について	14 人 14 人	

月	会 議 内 容	人 員	支 出 額
10 月	研修報告 巡回指導報告	13 人	
11 月	12 月の保育について お弁当遠足の反省 クリスマス会について 保育参加の報告 発表会について ★ 園内研修「時間外保育中に災害が起きた時」	14 人 14 人	
12 月	1 月の保育について 年齢別保育について クリスマス会最終打合せ 新年の集いについて 発表会の反省、餅つきについて 思い出遠足について	10 人	
1 月	2 月の保育について・豆まきについて クリスマス会及び新年の集いの反省 全体的な計画見直し	14 人	
2 月	豆まきの反省 3 月の保育について 新年度用品について 年間行事の見直しと反省 新年度に向けて協議（保育目標、デイリープロ等） 新年度のクラス担任について 指導計画書類について 行事の見直し、お別れ会と卒園式について	13 人	
3 月	卒園式とお別れ会（反省） クラス懇談会の報告、次年度行事日程決め 今年度の反省と申し送り 入園・進級式(平常保育) 新年度の保育について（日々の保育、全体で行う集会、散歩等） 4 月の健康診断について ★ 園内研修 次年度の会議と業務、日程決め	15 人 15 人	

※ 月 1 回は、定例職員会議とし、翌月の保育について協議および、事務連絡を行う。また月 1 回は給食会議で食育活動、献立の検討を行う。年 4 回園内研修を開催する等、必要に応じて職員会議を開催。

※ ★は、園内研修を意味する。

3 職員の健康管理

区 分	対 象 者	回 数	実 施 時 期	人 員	支 出 額
健康診断 X線、血圧、尿 血液、心電図	全 職 員	1 回	4 月～8 月	26 人	166,198
検 便	全 職 員	12 年 間 (O-157 検査を含む)		317 人	99,538

4 研修実績

月	研 修 内 容	派 遣 者 名	支 出 額	
			研修費	旅 費
4 月	東社協保育部会研修委員会	板 橋	0	1,648
	園長会	板 橋	0	292
	主任部会	杉 山	0	0
5 月	東社協保育部会研修委員会	板 橋	0	1,648
	保育研究部会	小 山	0	0
	園長会	板 橋	0	292
	幼稚園保育所等歯科保健担当者研修会	久 保	0	0
	東社協保育部会研修委員会	板 橋	0	1,648
	東社協保育講座①	松 本	2,000	0
	東京都保育士等キャリアアップ研修	松 本	6 月	3,780
	東京都保育士等キャリアアップ研修	小 笹		1,648
	東京都保育士等キャリアアップ研修	佐藤さ		0
	社協保育部会研修委員会	板 橋		1,648
	幼稚園保育所等歯科保健担当者講習会	久 保		0
	わかくさ保育園視察	全職員		0
	園長会	板 橋		292
	東京都保育研究大会	板 橋		1,590
	プール衛生管理講習会Ⅰ	全職員		0
	主任部会	杉 山		0
	運動会実技研修会	村木・遠藤		0
	保育研究部会	遠 藤		0
	東京都保育士等キャリアアップ研修	佐藤み		1,890
	東京都保育士等キャリアアップ研修	堀		1,980

月	研 修 内 容	派 遣 者 名	支 出 額	
			研修費	旅 費
7 月	東社協保育部会研修委員会	板 橋	0	1,648
	東社協給食担当者講習会	井 上	8,000	0
	食物アレルギー講習会	井 上	0	0
	青梅市幼・保・小合同研修会	杉山・遠藤	0	0
	プール衛生管理講習会Ⅱ	全職員	0	0
	主任部会	杉 山	0	0
	東京都保育士等キャリアアップ研修	堀	0	1,980
	東京都保育士等キャリアアップ研修	佐藤み	0	1,890
	園長会	板 橋	0	292
8 月	摂食嚥下機能支援研修会	久保や	0	
	BCP 策定講座	板 橋	0	292
9 月	園長会	板 橋	0	292
	東京都保育士等キャリアアップ研修	村 木	0	0
	調理研究部会	板 橋	0	292
	就学前教育カンファレンス	遠 藤	0	1,142
	東社協保育講座②	板 橋	0	1,648
	東社協保育講座②	吉 澤	2,000	1,890
10 月	東社協保育部会研修委員会	板 橋	0	1,648
	主任部会	杉 山	0	0
	東社協給食担当者講習会	吉 澤	0	0
	園長会	板 橋	0	0
	全国奈良保育研究大会	板 橋	20,000	32,240
11 月	東社協保育部会研修	全職員	0	0
	主任部会	杉 山	0	0
	東社協保育講座	渡 邊	3,000	1,890
	東社協保育講座	板 橋	0	1,648
	園長会	板 橋	0	292
	保育研究部会	小 笹	0	0
	東社協保育講座	全職員	0	0
12 月	青梅市保育園法人研修会	板 橋	0	292
	東社協保育部会研修委員会	板 橋	0	1,648
	園長会	板 橋	0	292
	就学支援シートの活用について	遠 藤	0	0
1 月	園長会	板 橋		292
	東社協保育講座③	板 橋		1,526
	東社協地区委員総会	板 橋		1,648
	東社協保育講座	佐藤さ	2,000	1,820
	保育・調理合同研究部会	堀・佐藤さ	0	0

月	研 修 内 容	派 遣 者 名	支 出 額	
			研修費	旅 費
2 月	園長会	板 橋	0	292
	東社協保育部会研修委員会	板 橋	0	1,648
	都民アレルギー講習会	久 保		0
	主任部会	杉 山	0	150
	東社協特別研修②	全職員	5,000	0
	東社協給食担当者講習会	佐藤さ	0	0
3 月	園長会	板 橋		292
	主任部会	杉 山		

5 園児処遇関係

(1) 職員の構成と分担 別紙参照

(2) 園児の健康管理

区 分	対 象 者	年回数	実 施 時 期	延人数	支 出 額
健康診断	全 園 児	2 回	4 月・10 月	148 人	460,000 円
乳児健診	0～2 歳児	12 回	毎 月	362 人	
歯科健診	全 園 児	1 回	6 月	69 人	50,000 円

(3) 食育実施

ア 食育時の指導状況

年齢区分	食 育 目 標
0 歳児	子どもの月齢及び発育状態に応じて、離乳食を開始し離乳食が進むにつれて発育に対応できるような献立にしていく。保育士は介添えをしたり、子どもがコップやスプーンを持って自分で、食べようとする姿を見守る。
1 歳児	保育士は、子どもが自分で手を拭けるようにする。最後まで自分で食べよう給食を食べる楽しさを知らせ、好き嫌いをしないようにする。 フォークやスプーンで食事をし、正しい持ち方を身につけていく。
2 歳児	子どもが、食前に手を洗い食後は、口をすすぎ手を拭けるようにする。 給食を食べる楽しさを知らせ、好き嫌いをしないようにする。 フォークやスプーンで食事をし、正しい持ち方を身につけていく。
3 歳児	給食前に、うがい手洗いが出来るようにする。好き嫌いが出てきているので嫌いな物でも少しずつ食べるようにしていく。
4 歳児	食事の支度を自分から進んで出来るようにする。嫌いな物でも食べようとしたり、食事のマナーを知り、友だちと楽しく食べる雰囲気を作っていく。
5 歳児	当番を決め、自分たちで配膳する。こぼしたものの後始末や片付けを覚え学校給食に向けて、決まった時間内にどんな物でも食べられるようにする。

イ 給食の内容

栄養のバランスに留意し、身体の発育をはかる。

(ア) 献立表を作成し、栄養量の適切さをはかる。

(イ) 米食は週3回、粉食週2回とする。(土曜日を除く)

(ウ) 副食、おやつ等は、手製を主とする。

(エ) 肉などに偏らず魚類を取り入れる。

(オ) 野菜を多く使い、食物繊維の摂取に努める。

(カ) 海藻類を取り入れ、乳製品以外からもカルシウムの摂取をはかる。

ウ 衛生管理について

伝染病、食中毒の発生源にならないよう、調理室に於いて次の点に留意する。

食器は洗浄し、消毒庫で保管し、一般炊具も清潔に保管する。

(ア) 鼠、ハエ等の潜入を防止し、常に清掃し、清潔に保つ。

(イ) 調理に当たるものは、衣服、身体を清潔にして従事する。

(ウ) 細菌検査を毎月実施する。

(エ) 食材、検食の2週間保管。

(オ) 冷蔵庫は、定期的に掃除し、温度管理をする。

(カ) 調理は、給食時間に合わせて調理をする。

(4) 保 育

ア 保育方針

- 健康なからだをつくる
- 自然の中でのびのびあそぶ
- 豊かな心、協調性を養う
- 自主的・個別保育及び縦割り保育の導入

イ 年間行事実施状況

月	行 事 実 施 状 況	支 出 額
4 月	入 園 進 級 式 (平常保育) 健 康 診 断 乳幼児全員 (春)	5,000 年額 460,000
5 月	乳幼児組個人面談 緊急時の引き渡し訓練 移動動物園	0 0 154,000
6 月	乳幼児組個人面談 クラス懇談会(乳児・幼児組) フラワーアレンジメント教室(5歳) 夏まつり	0 14,000 36,169
6 月	歯科健診 プール開き 保護者保育参加(試食会)	50,000 0 0
8 月	プール納め	0

月	行 事 実 施 状 況	支 出 額
9 月	敬 老 会	20,384
10 月	運 動 会	55,859
	健 康 診 断 乳幼児全員 (秋)	0
	ハロウィン	1,593
	お弁当遠足	77,511
11 月	シルエット劇場 (5 歳児)	25,350
12 月	ク リ ス マ ス 会	81,420
	フラワーアレンジメント教室(5 歳)	12,000
	発 表 会	0
	餅つき	3,820
1 月	新年の集い (劇団)	78,000
	保護者保育参加 (試食会)	0
	おもいで遠足	103,426
2 月	豆 ま き	576
3 月	お 別 れ 会	0
	卒 園 式	81,873
	新入園児説明会・個人面談	0
毎 月	避 難 訓 練・乳 児 健 診 身 体 測 定	
火曜日	体 操 教 室 (幼児組)	556,600
金曜日	音 楽 リ ズ ム	399,300
その他	障害児巡回指導(年 3 回) 地域の子どもたちと保育交流 誕生会 (個々の誕生日に祝う)	0

(5) 安全管理

ア 設備・運営について

非常災害に備えて、消火器、三角バケツを廊下等に設置、非常口の確保、消防計画に基づく避難、消火、通報訓練を毎月行い、有事に備える。

(ア) 構築物の維持管理

(イ) 消防用設備等の点検整備及び定期検査

(ウ) 火気設備の整備・点検

(エ) 毎月実施する防災避難訓練 防犯訓練

(オ) 遊具、机、椅子、玩具類の点検、整備

(カ) ダムウェイターの管理 隔月に点検

(キ) 害虫駆除

(6) その他の事項

園舎機械警備 セコム・セキュリティハウスに委託

非常通報装置 (学校 110 番) 保守点検

保護者等へ緊急時、園からメールにより携帯電話に連絡を行う。

6 施設整備状況

(1) 園舎の増改築

なし

補修工事の状況

1階職員男子トイレ水漏れパッキン交換	20,020 円
ファンコイル交換作業（うさぎ組）	389,840 円
厨房排気ファン不具合メーカー修理・プール排水バブル修理	73,700 円
空調室外機部品交換作業	440,000 円
園内各所修理工事	53,460 円
看板横他塗装補修	99,000 円
厨房トイレつまり修理	16,280 円

(2) 固定資産物品購入状況

マグナロック（門の鍵）	121,000 円
可搬型蓄電池（非常用電源等整備促進事業）	374,000 円
入口表示看板 2枚	255,000 円
ハイハイタウン星の降る家（性犯罪防止推進事業補助金）	115,500 円

(3) 備品の購入状況

キッズビークル 2(ミントグリーン)×2	41,658 円
キッズビークル 2(コーラルピンク)×2	41,658 円
ドームカメラ（ひよこ・りす・こあら）	297,000 円
象印 IH 炊飯ジャー一升炊き（幼児組）	15,689 円
グラウンドユニットプールカバー UP-4	94,900 円
園庭のランプ	50,000 円

7 災害対策

(1) 避難訓練実施状況

月	訓練種別	月	訓練種別
4	通報・消火、避難訓練（園庭） 引渡し訓練	10	総合訓練・通報、消火、避難
5	通報・消火、避難訓練（園庭）	11	通報・地震、消火、避難 （消防署の立ち合い）
6	通報・消火、避難訓練（園庭）	12	通報・消火、避難訓練（第2避難所避難）
7	通報・消火、避難訓練（園庭）	1	通報・消火、避難訓練

月	訓 練 種 別	月	訓 練 種 別
8	地震により消火、避難訓練 防災ズキン着用	2	通報、消火、避難訓練（時間指定なし）
9	地震、通報・消火、避難訓練	3	地震、通報（時間指定なし） 消火、避難訓練

(2) 防災設備の保守点検

消防署査察 年1回（時期未定）

自主点検 防火管理者 年2回 4月 10月

業者委託 機能・外観検査各1回

消防署へ年1回（11月）届出 委託料 33,000円

(3) 災害対策用品購入状況

非常食 白米・パン・カレー・ピュアウォーター・ライスクッキー・豚汁 他

8 保護者との関係

(1) 園に対する理解と協力の状況

※重要事項説明書

※ 園だより、リーダーだより、クラスだより、給食だより、献立表を毎月、保健だより隔月発行

※ 保護者が行事に参加（運動会、発表会）

※ 個人面談、クラス懇談会

※ 保育参加

9 地域社会との関係

月	交 流 内 容	支 出 額	月	交 流 内 容	支 出 額
5	移動動物園	154,000	10	運動会	55,859
6	夏まつり	36,169	12	クリスマス会	81,420
9	敬老会	20,384	1	新年の集い観劇	78,000

10 苦情処理

提供するサービスについて、利用者からの意見・要望・苦情を解決するため「青梅保育園利用者の意見・要望等の相談解決実施要領」に基づき苦情処理を行う。

○ ご意見箱の設置

○ 担当者 主任保育士

○ 責任者 園長

○ 第三者委員 細谷 真人・守谷 直記（2025年6月定時評議員会まで）

第4 添付書類

- 法人役員名簿
- 保育の年間指導計画書振り返り

法人役員名簿 *個人情報保護のため氏名のみ掲載

社会福祉法人 青梅福祉会 理事・監事・評議員名簿

法人名	青梅福祉会	法人設立年月日			1993年3月29日		
法人所在地	青梅市滝ノ上町 1274-1	理事	6名	監事	2名	評議員	7名

2025 年定時評議員会開催まで

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	山崎 善孝	理事	知久 一成
理事	並木 邦仁	理事	遠藤 隆喜
理事	並木 哲朗	理事	板橋 仁美
監事	細谷 真人	監事	守谷 直記

2025 年定時評議員会開催まで

役職名	氏名	役職名	氏名
評議員	渡邊 茂則	評議員	長 秀行
評議員	本多 徹	評議員	岩浪 武夫

2027 年定時評議員会開催まで（改選時期統一のため 2025 年退任後 再選とする）

役職名	氏名	役職名	氏名
評議員	青柳 康彦	評議員	氏江 正二
評議員	細谷 公一		

年間組別指導計画		ひよこ組	男児	2 名	担当	遠山 紗菜恵	吉澤 智子	承認	園 長
令和06年度		0 歳	女児	6 名					副・主
期の振り返り / 評価反省	1 期 (0 4 月～0 5 月)			2 期 (0 6 月～0 8 月)					
	2人とも11月生まれということもあり、成長に大きな差はない中での保育だった。ミルクを飲むようになるまでに少し時間はかかったが、家庭での協力もあり、じっくりと向き合うことが出来た。園での生活にも慣れ、まとまった睡眠もとれるようになってきた。人や玩具への興味も少しずつ出てきた。家庭と連携を取りながら、成長を共有できたと思う。			ハイハイをし始めてつかまり立ち・伝い歩きを始めたり、担任と他の保育士との区別がつき時々人見知りをしたり、心も体も成長した。7月から新入園児を迎え3名と一緒に過ごす中で、お互いに興味を持って関わろうとする場面も見られるようになった。離乳食も家庭や厨房と連携しながら進めることが出来た。少しずつまとまった午睡が出来るようになってきている。					
	3 期 (0 9 月～1 2 月)			4 期 (0 1 月～0 3 月)					
	3か月間で5名の新入園児が入り担任も増え環境が変わった。それに伴い在園の子も落ち着かなくなり少しバタバタした。一人一人は大きく成長し歩行も安定した子が増え、園庭でも遊ぶことが出来た。食事それぞれよく食べるようになり成長が見られた。			月齢の低い子以外は歩行が安定し、天気の良い日は園庭遊びが沢山出来た。子ども同士の関わりも増え、笑い合う姿はとても微笑ましかった。今後の様子が楽しみだ。3月に入り散歩へ行ける日も増えた。手つなぎでの歩行も嫌がらずにできた。食事は進級する子はみな完了になり、他1名も後期食になることが出来た。食具を使用して積極的に食べる姿も見られた。					
年間のまとめ	2名から始まり徐々に人数が増えて行ったことにより、一度慣れた子が崩れたりクラス的に落ち着かない期間があり難しさも感じたが、そんな時期にはフォローの先生に協力してもらいながら、最終的にはとても落ち着いた。1名以外月齢がまとまっていたので、成長段階が同じで活動が展開しやすかった。よく遊ぶ子たちで、よく食べよく眠るようになり、生活も安定した。後半には簡単な言葉が出始めたり、やり取りが出来るようになる子も出てきて、担任との関わりも更に濃くなり信頼関係が築けた。友だちへの興味も出てきて微笑ましいやり取りも見られるようになった反面、取り合いなども出てきたが、大きな怪我、トラブルなく過ごせて良かった。体調面は人により安定しない時期があったり入院した子もいたが、大事には至らず良かった。								

年間組別指導計画		りす組	男児	4 名	担当	井上 展子	堀 ルミ	承認	園 長
令和06年度		1 歳	女児	5 名					副・主
期の振り返り / 評価反省	1 期 (0 4 月～0 5 月)				2 期 (0 6 月～0 8 月)				
	新入園児はゆとりを持った慣れ保育を行うことで園生活にも慣れることが出来た。進級児は部屋の環境や生活にも早い段階で慣れ、無理なく過ごすことが出来ている。午睡時は他児の泣き声で早くに目覚めてしまったり、短い時間での睡眠になる子もいた。				月齢の高い子は友だちと手を繋ぎ散歩に出かけられるようになったり、盛んにお喋りもしている。食育ではトマト、ナスを育て収穫を楽しんだ。テラスでの水遊びでは水が顔にかかっても手で拭えるようになり泣かずに遊べるようになった。また、泡遊び、色水遊び、色水のお絵描きやスポイト、コップなど色々な道具での空け移し遊びも楽しめていた。				
	3 期 (0 9 月～1 2 月)				4 期 (0 1 月～0 3 月)				
	サツマイモ堀りを楽しんだ後、ラディッシュと大根の種まきをした。11月にラディッシュ、12月後半に大根が収穫できた。子どもたちは自ら、水をあげたり、葉っぱに小さな虫を見つけ興味津々で見ている。秋になり散歩でどんぐりや落ち葉を持ち帰り、製作をしたり、野菜スタンプを楽しんだ。運動会やハロウィン、クリスマス会、もちつきなどの行事も楽しめていた。				お正月遊びを作って遊び、凧揚げやコマ回しを楽しんでいる姿が多く見られた。ミカンの皮を剥いて香りを楽しんだり、大きさの違う種を取って違いを見つけていた。散歩では歩くペースが速くなり落ち着いた足取りで歩くことが出来ている。手つなぎの友だちを探すのも楽しみになっていた。ジャガイモ植えでは種芋を手に取り触ったり、形を見たりすることが出来た。				
年間のまとめ	9名と人数は少ないが個性的な子が多く、個別に対応して保育を進めてきた。配慮の必要な子に対してはしっかりと向き合い色々な角度から子どもの姿をとらえ担任間でコミュニケーションを取りながら日々を過ごせた。何事にも興味を示す子どもたちだったので製作や個別遊びを提供すると意欲的に取り組んでいた。集まりの時間では、保育士の話に耳を傾け指示を理解し行動することが出来ていた。言葉でのやり取りが増えたことで更にコミュニケーションがとりやすくなり成長を感じた。								

年間組別指導計画	こあら組	男児	9 名	担当	土田 悠加	小笹 理絵	佐藤 実久	承認	園 長
令和06年度	2歳	女児	9 名						副・主
期の振り返り/ 評価反省	1 期（0 4 月～0 5 月）				2 期（0 6 月～0 8 月）				
	新入園児 1 名はなかなか慣れず、まだ不安定なところはあるが、進級児は新しい環境にもすぐに慣れ 5 月からは大池先生の運動遊びを園庭で出来、朝の集まりではピアノに合わせて歌を歌うことも始めた。また散歩では子どもたちだけで歩ける子たちが増え、食事も 3 グループから 2 グループで食べるようになった。トイレで成功する子も増えて来ているので次期は夏のおむつ卒業を目指し、トイレトレーニングを積極的に進めていこうと思う。友だちとの関わりが増えて来た分、トラブルもあるため関わりを丁寧に繰り返し伝えていく。				6 月は、梅雨入りしたがあまり雨が降らず夏のように暑い日もあった。園庭や散歩は、時間を短くして遊んだ。水遊びが始まるのでグループなしで食事の形になった。7 月からは、水遊びをする。最初は、水が苦手な子も多く、濡れる子も少なかったが日に日にダイナミックになり全身濡れて遊んでいた。泡立てた泡やプールの中に氷を入れて遊んだり、片栗粉粘土などの感触遊びも楽しんだ。室内では、泡立て遊びやおもちゃすくいなど水を使った遊びもした。8 月から新入園児は、登園時は泣くが日中は泣くことなく過ごすことが出来ている。				
	3 期（0 9 月～1 2 月）				4 期（0 1 月～0 3 月）				
	初の運動会は初の体育館だったが練習の成果を十分に発揮し見てもらうことが出来た。その後の子どもたちの成長は著しく、身の周りのことを自分でできるようになり、友だち同士の言葉でのコミュニケーションも沢山見られるようになった。長距離の散歩にも慣れ、疲れを見せずよく歩いていた。12 月から一人増え 17 名になったが落ち着いて過ごせている。おやつの下膳やガラガラうがい始めたが飲み込みも早く良く出来ている。咳や鼻水が出ている子は多かったが流行りの病気に罹る子は少なかった。				1, 2 月は寒さが厳しく戸外遊びの時間も少なくなったが生活リズムは崩れることなくよく食べよく眠れていた。正月の伝承遊びにも触れてグラウンドで思い切り走って風あげをし、良い経験が出来た。胃腸炎が流行ると食欲が少し落ちたこともあったが、3 月になると進級に向けて朝の身支度が増えたりしたが大きな乱れもなく習慣付いた。給食では保育士も子どもたちと一緒に食べることで、喜んでいただき食欲も増して進んでいた。				
年間のまとめ	一人担任も持ち上がっていたこともあり、4 月からとても落ち着いて過ごせていた。新入園児もあまり泣かずにすぐ慣れたこともあり、朝の登園時に泣く子の姿もあまり目立たなかった。室内の環境は毎週遊びを変えるようにしていたので、部屋の模様替えをしなくても、走り回ってしまったりおままごとにも偏ることもなく遊びに集中出来ていた室内では静かに、戸外では思い切り身体を動かしてメリハリのある生活が送れたと思う。散歩では山に登る機会があったが、梅岩寺の裏から登れなかったので残念だった。後半では英会話がなくなってしまったが、ダンスが始まりスキップに関してはすごく上達したので良い経験だったと思う。普段から大池先生と運動遊びをやっていたこともあり 3 月の体操教室でも戸惑うことなく話を聞いて参加出来ていた。今までの生活の積み重ねがしっかりと成果になっていた。								

年間組別指導計画		うさぎ組	男児 16 名	担当	小山 莉穂	村木 元夢	承認	園 長
令和06年度		3歳～5歳	女児 8 名					副・主
期の振り返り/ 評価反省	1 期（0 4 月～0 5 月）			2 期（0 6 月～0 8 月）				
	担任が変わったが、去年も関わりのある子たちだったので、比較的スムーズに信頼関係を築けた。室内でも落ち着いて遊べている。特にUNOに夢中で、青黄組を中心に教え合いながら遊ぶ姿が見られた。今年は赤組に加配児がいるので、保育士間の連携をより話し合った。環境設定やおもちゃの入れ替えなど細目に行って、遊びに集中できるよう行っていた。			室内でも落ち着いて過ごせていた。泥んこ遊びや夏のプールや水遊びにも意欲的に取り組み、成長を感じられた。赤組も慣れてきて、自分で何事にも挑戦する姿も見られた。来月からは運動会や発表会など始まるので、子どもたちの体調管理に気を付け、息抜きもしながら行っていきたい。				
	3 期（0 9 月～1 2 月）			4 期（0 1 月～0 3 月）				
	運動会、発表会と大きなイベントが終わり、子どもたちは気持ちの持ち方や行動に自信を持っているように感じられた。年齢別での生活になり、各クラス成長した面が多くあるので、縦割りクラスに戻った時に率先して自主的に動けるよう、子どもたちの成長をより感じられるように環境等も整えていきたい。			縦割りクラスに戻り、それぞれが成長した姿が見られた。マラソン大会など初の試みをしたところもあったが、子どもたちも楽しくできたと思う。進級に向けての生活になり移行でこあら組が来たが、なかなか興味を示す子が少なく心配になったが、目を追うごとに声を掛けたりと気遣う姿が見られて安心した。進級した姿が楽しみ。				
年間のまとめ		昨年に引き続き同じ幼児クラス担任だったので、子どもたちとの信頼関係は築けていたので、比較的スムーズに過ごすことが出来た。青組が積極的に赤組のお世話をしてくれたり、遊んだりしてくれていたのでもとまっていたと思う。室内ではこまめに環境や玩具の入れ替えをしていたが、最後の方はなかなかできなかったのが反省点である。今年度は初の試みや久しぶりのイベント事などが多く、子どもたちもいい経験が出来たと思う。来年度も引き続き行っていけたらと思う。						

年間組別指導計画		くま組	男児 14 名	担 佐藤 小百合	遠藤 ちひろ	承認	園 長
令和06年度		3歳～5歳	女児 10 名	担 佐藤 小百合	遠藤 ちひろ		副・主
期の振り返り / 評価反省	1 期 (04月～05月)			2 期 (06月～08月)			
	新クラスがスタートし元気に過ごせていた。元気がよい反面、室内遊びやお集まりなどでは落ち着きがなく、メリハリをつけることに苦戦した。子どもたちのパワーを良い方向に発揮できるように今後も考えていきたい。天気が良い日には園庭遊びや散歩などができた。暑くなりすぎる前に積極的に散歩に出かけられるように保育に余裕を持てるよう工夫していく。			暑い日が続き、水分補給や保育室の温度管理、子どもたちの体調管理について細心の注意を払った。プール活動では、暑い日には少しでもプールに入れるように、時間を短縮したり、2クラス合同でプールに入ったりと、子どもたちの健康に配慮しながらプール活動ができた。プールを通して苦手なことや自信のないことにも挑戦する姿や、ひたむきに繰り返し練習をする姿が多く見られた。子どもたちの成長を強く感じ良い夏になった。室内でも泡立てや色分け、スライム、実験遊びなど夏らしい遊びを楽しんだ。			
	3 期 (09月～12月)			4 期 (01月～03月)			
	運動会のクラス対抗では、一致団結し頑張った。うさぎ組に勝つことが増えると、嫌な発言をする子もおり、相手の気持ちを考えるきっかけになった。各クラスの競技では、会場が体育館になってしまい、初めての会場だったが練習の成果を発揮し楽しむことが出来た。運動会後は発表会に向けて、年齢別のクラスで過ごした。近い年齢同士切磋琢磨し、合奏・劇への取り組みや、様々な行事を通して大きく成長を見せた。			縦割り保育になり、それぞれの学年の関わりが深まり、クラスが良い雰囲気になってきている。1年の仕上げる時期であり、様々な活動の中で成長を感じる場面が多かった。今年初めて行ったマラソン大会は、得意不得意の壁を越え、どの子も楽しめる行事になった。地域の行事にちなみ行ったことで、青梅の催しへの関心も高まった。			
年間のまとめ	活発だが、話が聞けなかったり、自己中心的にふるまう子が多く苦戦した。様々な活動を通し、進歩や後退を繰り返しながら、少しずつ成長を見せた。日々の活動の中で感じた落ち着きのなさだが、自分の感情に正直で、思いを我慢せず表現する中で、たくさんのトラブルを経験し、相手の存在にも気づくことが出来たのだと思う。4期後半頃は、黄・赤組の育ちが強く感じられた。移行期を迎え、こあら組に対して優しく接する姿や、身の回りのことをしっかりできるようになるなど成長を感じた。 食に関しては、好き嫌いの激しい子が多かったが、一人一人に寄り添いながら進めている中で、活動量の増加もあり、食べられる量が増えたり、自分の食べられる量を理解して盛り付けたりできるようになった。食育を通し、食事を作る楽しさや食に対する興味関心が増している。						